

校長室だより

No. 34

平成30年1月9日(火)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとう よし かず
加 藤 嘉 一

新年を迎えて

前日のしとしとした雨が露払いをしたかのように、早朝の空気はすんでいました。校舎3階から東を望むと、まだ姿現さぬ日の光が、山を背から照らして一層黒くし、自らの光の強さを主張しているかのようです。姿を現し始めた初日は、山の端の雲を少しずつ消し、空の色を薄橙からあつという間に強く青く変えていきました。ほんの数分間のドラマでした。2018年、六ツ美中部小学校の清しい幕開けです。



2018年(平成30年)が六ツ美中部小学校の子供たちと六ツ美中部小学校にかかわってくださっている皆さんや地域にとって、幸多き年になりますようにお祈りするとともに、そして、六ツ美中部小学校前進に力を尽くすことを誓い、手をあわせました。

○六ツ美中部小学校の2018年(平成30年)を考える

年末に1年の振り返りをしました。教育活動の中心は授業です。その授業の柱となる新しい学習指導要領が平成29年3月に告示され、平成29年度は、新たな教育の方向を研究しなければならない年でした。本校は、「主体的な学び」とは何かを追い求め、総合・生活科を核にした特色あるカリキュラムを考えました。以下は、平成29年の新年に立てたわたしの指針です。

【平成29年度】

- ① 子供のどういう姿が「主体的・対話的で深い学び」なのかの議論
- ② 本校が研究会以来積み上げてきた「ESDカレンダー」と教育課程全体の関係整理(カリキュラム・マネジメント)

では、平成30年はどうするか。まだ本年度は終わっていませんが、3学期は次年度の計画に入るときです。年末の振り返りをもとに、昨年4年先まで立てた計画を見直し、朱書き(太字)部分を加えることにしました。学校の教育活動

の中心となる授業、それと両立する行事・特別活動等を次年度計画するにあたり、次のことをわたしの柱にしたいと考えます。

【平成 30 年度】

- ① **どういう学びが「深い学び」かの議論と「主体的・対話的で深い学び」**を実現する授業の仮説作り、**子供の振り返りをもとにした検証**
- ② 教育課程全体（日課・授業時間数・教科横断等）・指導計画のモデル作り

【平成 31 年度】

- ① 「主体的・対話的で深い学び」を具現化した授業研究
- ② 教育課程（日課・授業時間数・教科横断等）・指導計画の作成と試行

【平成 32 年度】 新学習指導要領・新教育課程をもとにした授業の完全実施

特に、授業の振り返りに焦点をあて、子供自身が自分の成長と次なるめあてを自覚する学びを実現すること、そして、わたしたちは子供の姿から授業の課題をしっかりと見つけ、深い学びを追究したいと思います。

平昌オリンピック・東京オリンピックへの関心を高める

スポーツは夢と感動を与えます。社会に夢と感動、生きる希望をもたらす力になりたいとスポーツ記者になった教え子のことを思い出しました。彼女は、東京オリンピックで活躍が期待される卓球選手の取材のために、数か月前、ヨーロッパへその選手とともに旅立ちました。

本校では、来たる東京オリンピックのマスコットキャラクター投票に参加することにしました。中立教頭先生が、各学級に候補キャラクターを印刷し、子供と職員の投票結果を集約してくれました。その結果は以下のようです。実際の決定

東京五輪マスコット 投票結果

| 【学級集計】 | | | |
|---------|----|---|---|
| 学級 | ア | イ | ウ |
| 1㉟1 | ○ | | |
| 1㉟2 | ○ | | |
| 2㉟1 | | | ○ |
| 2㉟2 | ○ | | |
| 3㉟1 | ○ | | |
| 3㉟2 | | | ○ |
| 4㉟1 | ○ | | |
| 4㉟2 | ○ | | |
| 5㉟1 | ○ | | |
| 5㉟2 | | ○ | |
| 6㉟1 | | | ○ |
| 6㉟2 | ○ | | |
| 3組 | | ○ | |
| 4組 | ○ | | |
| 5組 | | ○ | |
| 合計 | 9 | 3 | 3 |
| 【教職員集計】 | | | |
| 教職員 | ア | イ | ウ |
| 教職員 | 17 | 8 | 7 |

は2月末のようです。キャラクター選びをしているとき、東京で正式種目になる競技を自慢げに話す子もいたようです。子供たちも興味をもったようです。平昌・東京ともに素晴らしい大会になることを期待しています。

心技体を極めた選手たち。試合に至るまでのストーリーと極限での戦いをあわせ見るとわたしたちは感動します。オリンピックは、苦しい努力をしてきた選手と応援する人々のどちらもが、世界の様々な壁を越えつながりを持ちます。人を敬愛する心をオリンピックは与えてくれると、わたしは信じます。もし授業時間によいタイミングで競技が放映されれば、支障のない範囲で観戦し、子供に感想を聞いてみたいと思っています。

マスコットの候補(表のア、イ、ウ)は、インターネットで「東京 2020 マスコット」をキーワードにし、検索すると見ることができます。